

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名： 健康福祉部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県視覚障害者支援センター(津市桜橋二丁目131番地)
指定管理者の名称等	社会福祉法人 三重県視覚障害者協会 会長 内田順朗 (津市桜橋二丁目130番地)
指定の期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> センターの施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務。 点字刊行物及び視覚障がい者用の録音物の利用に供すること。 点訳及び朗読のボランティア活動の育成及び支援に関すること。 視覚障がい者の日常生活及び社会生活に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び支援を行うこと。 このほか、視覚障がい者の福祉を推進するために必要な事業。

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H18	B		施設や備品の管理については、良好であり、高速点字プリンターのオーバーホールに係る費用を毎年度積み立てて賄うなど、指定管理料の範囲内で柔軟に運用できている。 また、トイレや会議室の改修、音訳編集作業場所の工夫、電話相談に的確に対応するためにIP電話にして回線を増やすなど工夫をして、利用者の利便性を向上させている。 さらに、IT化に対応するための機器整備を計画的に行っており、時代の趨勢に応じた施設管理ができています。
H19	B		
H20	B		
H21	B		
H22	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H18	B		各種講習会の開催や生活相談、生活訓練を開催し、ボランティアの協力により、積極的な利用促進が図られた。 視覚障がい者は、センターに来ることが困難であるため、来所者が大きく伸びることはないが、図書の利用者も年々伸びており、指定管理制度導入以前の「点字図書館」「盲人センター」から「三重県視覚障害者支援センター」への浸透が図られてきた結果と評価できる。 また、点字や音訳のボランティア活動については、連日施設を活用しており、ボランティア活動用のロッカーを整備するなど、利便性の向上を図っている。
H19	B		
H20	B		
H21	B		
H22	B		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	194,000,000	事業費	24,454,758
利用料金収入		管理費	169,480,540
その他の収入	387,720	その他の支出	437,250
合計 (a)	194,387,720	合計 (b)	194,372,548
収支差額 (a)-(b)	15,172		

※参考

利用料金減免額	-
---------	---

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	H18	H19	H20	H21	H22	
H18	C		点字・録音図書、雑誌の貸出、閲覧件数(H18=冊巻数、H19以降=タイトル数)	目標値	83,690件	16,520件	16,780件	17,780件	18,580件
				実績値	66,681件	16,193件	17,690件	23,463件	18,150件
			点字・録音図書、雑誌の製作、編集件数	目標値	925件	245件	250件	250件	250件
				実績値	833件	295件	249件	153件	150件
H19	B		図書館だよりの発行	目標値	1,980人	2,150人	2,345人	2,345人	2,345人
				実績値	1,676人	1,625人	1,543人	1,562人	1,850人
			プライベートサービス(点訳、音訳)	目標値	180冊・巻	180冊・巻	180冊・巻	200冊・巻	200冊・巻
				実績値	185冊・巻	270冊・巻	278冊・巻	178冊・巻	195冊・巻
H20	B		点訳奉仕員養成講習会受講者(初級)	目標値	50人	50人	50人	50人	50人
				実績値	6人	9人	7人	51人	6人
			点訳奉仕員養成講習会受講者(中級)	目標値	12人	14人	16人	16人	16人
				実績値	8人	3人	6人	8人	30人
H21	B		朗読奉仕員養成講習会受講者(初級)	目標値	50人	50人	50人	50人	50人
				実績値	23人	13人	21人	24人	50人
			生活訓練開催回数	目標値	25回	21回	26回	23回	24回
				実績値	20回	26回	28回	30回	36回
H22	B		県政だより、県議会だより、生活情報誌の発行	目標値	36回	36回	36回	36回	36回
				実績値	36回	36回	36回	36回	36回
			視覚障がい者と点訳音訳ボランティア交流会	目標値	300人	300人	400人	400人	400人
				実績値	159人	267人	326人	197人	270人
全期間におけるコメント									
<p>点字図書等の貸出については、平成18年度に大きく目標を割り込んだが、これは図書のデジタイ化が進んだため、1タイトルあたりの巻数が大幅に減ったことに原因があった。</p> <p>数値目標と実績を正確に把握するためには、タイトル数で管理する方が適当であるとして、19年度からは目標値をタイトル数とした結果、目標値は概ね達成できた。</p> <p>点訳朗読奉仕員の養成については、当初3年間は受講者の応募が少なく苦慮したが、後半では、県広報への案内掲載があり、飛躍的に受講数を伸ばすことが出来た。</p> <p>生活訓練の実施回数については、目標を達成した。</p>									

6 総括評価

<p>・施設の管理について、視覚障がい者や利用されるボランティアを対象にアンケートを実施し、ニーズにあった改修や機器の導入・更新を進めており、適切な運営がされていると評価できる。</p> <p>・点字図書部門の事業の実施については、図書のデジタイ化、通信伝達機器の技術革新により、視覚障がい者にかかる情報発信の方法も急速にIT化が進んできているため、視覚障がい者のIT講習や相談を実施してきたが、今後より一層の充実が求められている。また、デジタイ化に対応できるボランティアの育成も急務となっており、センターではスキルアップ研修などにより、時代のニーズに即した内容の講座を行っている。</p> <p>・点字図書の保管については、収蔵スペースが少なく苦慮していたが、点字資料のデータ保管などが進み、思い切った処分を行ったことでスペースを確保するとともに、点字資料の教育機関への寄贈などを進め、人権教育に協力することができた。</p> <p>このような人権啓発の取組は、指定管理者である三重県視覚障害者協会の会員が各地域で啓発活動を行っており、他ではできない特徴的な取組であると評価できる。</p> <p>・利用者登録数は年々増えているものの、図書館だよりの読者数は年々減少しており、より魅力的な取組と情報発信が求められている。今後は、若年層のニーズを把握することが課題と考えられる。</p> <p>以上のことから、今回の指定管理期間を通じ、施設管理、IT化への対応、点字図書の保管について適切に実施されていると評価できる。</p> <p>なお、平成23年度から2期目の指定管理者として、三重県視覚障害者協会が引き続き指定されていることから、IT講習・相談のより一層の充実や魅力的な情報発信の取組など、時代のニーズに適切に対応できる運営が期待される。</p>
--

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※ 「3 施設の利用状況」
「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 当初の目標を達成している。
 - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※ 県の評価 :
- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 - 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 - 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。